

第1章 紀州のあけぼのと古代人



衣食住のはじまり



時代区分	旧石器・縄文・弥生時代
	古墳時代
	飛鳥・奈良・平安時代
	鎌倉・室町時代
	戦国・安土桃山時代
	江戸時代
	明治・大正・昭和(戦前)時代 昭和(戦後)・平成時代

最初の住人

今から約1万2,000年前までを旧石器時代といいます。和歌山県で一番古い遺跡は、約3万年前のもので、人々が使ったナイフ形石器が見つっています。このころは、まだ土器はつくられていません。この石器は、槍の先などとして使われたもので、割るとするどい縁ができるサヌカイト（讃岐石）のような硬い石でつくられていました。この時代の終わりごろには、ナイフ形石器にかわって細石器がつくられるようになりました。細石器は、小さなもので、木や骨などを軸としていくつも並べてはめ込み、槍やナイフとして使っていました。



ナイフ形石器
(紀の川市貴志川町平池遺跡 個人蔵)

約7万年前にはじまった最後の氷河期は、約2万年前から約1万8,000年前ごろが一番寒かったといわれ、和歌山県でも気候が北海道南部から青森県あたりのような気候だったと考えられています。人々は、槍、落とし穴、わななどを使って、ナウマンゾウ・オオツノジカ・ニホンジカ・サル・オオカミ・キツネ・タヌキ・ウサギなどをとって食べていました。そのころは、陸であったと考えられる和歌山市加太沖の海底からナウマンゾウの骨や歯が見つっています。



縄文土器 深鉢
(串本町大水崎遺跡 串本町教育委員会蔵)

土器がつけられた

初めて土器がつけられた約1万2,000年前から約2,400年前までを縄文時代といいます。この時代の初めごろに使われた有舌尖頭器とよばれる石器が県内の各地から発見されています。縄文人は、日当たりがよく、飲み水が近くにある丘の上や大きな川の岸に数家族でむらをつくって住んでいました。住まいは竪穴住居で、東日本ではたくさん発見されるのですが、西日本ではあまり見つかりません。地面を掘り凹めない平地住居が多かったのかも知れません。このほか、掘立柱建物や大形たて穴住居もありました。和歌山県では、みなべ町徳蔵地区遺跡から17軒の竪穴住居跡が、かつらぎ町中飯降遺跡から西日本では珍しい大形竪穴住居跡（普通のものの約5倍の広さ）が発見されています。

この時代は、大人になるまでに死ぬ子どもが多く、平均寿命は20歳以下でした。墓から見つかった骨をくわしく調べると、きびしい生活のためか骨折や関節炎が多く、虫歯にもなやまされていたこともわかりました。しかし、他人の介護がなければ生きていけないような重い障害をもった人を葬った墓も見つかり、体の弱い人も長生きできるよう、みんなで助け合っていたこともわかりました。この時代の後半には、男の子も女の子も12～13歳になると、大人になったしるしに上の顎の犬歯（糸切り歯）を両方と

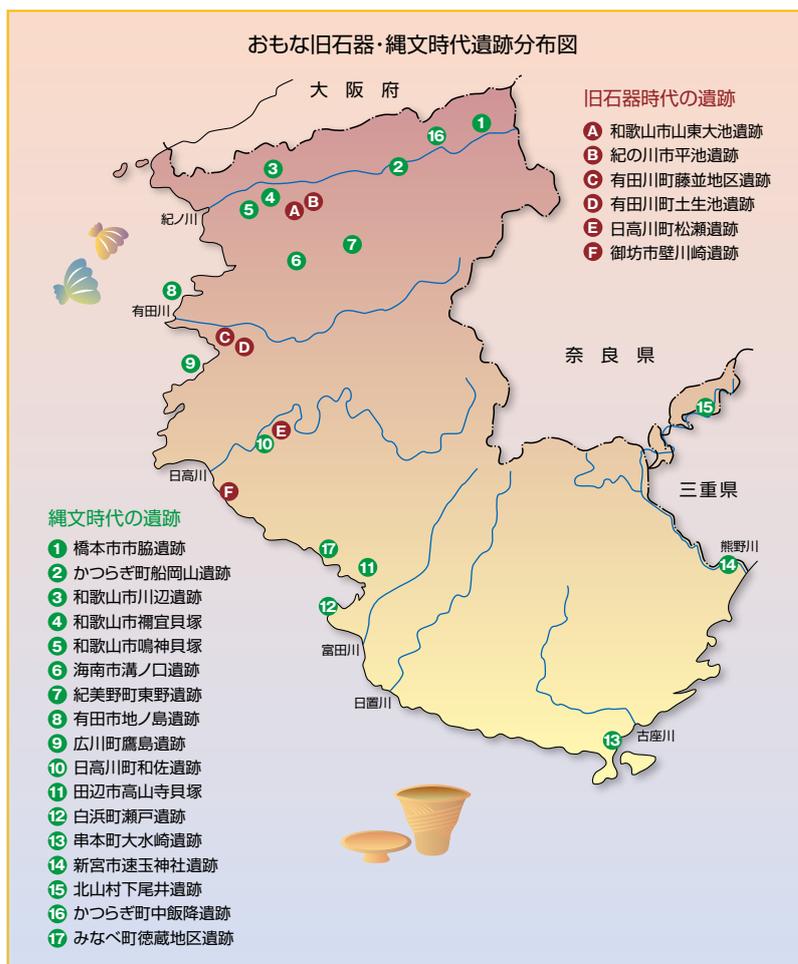
*1 投げ槍の矢などに使われたと考えられる。
*2 地面を掘り凹めないで柱を立てたテントのような建物。
*3 ムラの集会所だったとする考えもある。

も抜きました。また、結婚や家族が死んだときも歯を抜いたようです。人が死ぬと地面に穴を掘って埋めました。和歌山市鳴神貝塚からは男女の骨8体が見つっています。

着物は、からむし(苧麻)やくずの茎などの繊維を編んだもので、現在のよう布はありませんでした。寒い時期には動物の毛皮なども使われていたと考えられます。

縄文人の一番大切な食べ物は、一度にたくさんとれて長い間保存できるクリやクルミ、ドングリ類(トチ、クヌギ、カシなど)で、川の近くにくつもの穴を掘り、秋に集めたドングリを保存していました。ドングリは、灰汁を抜き、粉にして肉や卵をまぜ、ハンバーグのようにして石のフライパンの上で焼いて食べました。

むらの跡からは、浅鉢・深鉢・皿・



高山寺貝塚の断面
(田辺市教育委員会蔵)

注口などの縄文土器、かすらであんだ籠、漆塗りのボウル、狩りに使う丸木弓、矢のさきにつける石鏃、木を切ったり削ったりする石斧、穴をあける石錘、ドングリを粉にする石皿と磨石、魚をとる網のおもりである石錘などの石器、ひすいの玉・イヤリング・漆塗りの櫛などの装身具、祭りで使う琴・石棒・土偶などが見つっています。

貝塚はタイムカプセル

貝塚は、縄文人がいろんなごみを捨てたところで、食べた貝の殻、魚や動物の骨、骨や石でつくった道具、こわれた土器などがたくさん見つかると、まるでタイムカプセルです。貝殻がたくさんあるため、ふつうでは腐ってしまう骨などがよく残り、縄文人の生活のようすがよくわかります。県内には、和歌山市瀬貝塚・吉礼貝塚・鳴神貝塚・岡崎遺跡・秋葉山貝塚、有田市地ノ島遺跡、田辺市高山寺貝塚、白浜町瀬戸遺跡などの貝塚があります。高山寺貝塚からは、ネズミ・クマ・タヌキ・イノシシ・シカ・イルカ・ヘビ・カエル・鳥などの骨、タイ・ヒラメ・スズキ・ブリ・ボラ・サメなどの骨、サザエ・アカニシ・ハイガイ・サルボウ・カキ・ハマグリ・シジミなどの殻が見つかり、いろいろな動物や貝などをとって食べていたことがわかります。

* 1 麻の一種で茎の皮をはぎ、繊維をつくった。